

日根野中だより

令和5年11月2日発行 日根野中学校 校長 武田 博之

合唱コンクールを終えて…感動！

先日10月31日に学年合唱コンクール、11月1日に合唱コンクール本選を実施させていただきました。一昨年度はコロナ禍のため中止を決定…。今年度の3年生は一年間その経験をせず、今年度の合唱コンクールを迎えました。

結果本当に良かったと思っています。その行事にかける思いが強かったのでしょう…各クラス、本当によくがんばり取り組んでいました。中には合唱に対しての意見が割れ、もめているような雰囲気もありましたが、その中で流す涙…流した汗のお陰で、その水気が人と人を結び付けるのか…？引き寄せられるかのように、クラス全体の結束が増し、素晴らしいハーモニーを奏でることが出来たクラスもありました。まさに、学校が教育の柱として、本来目指す「教化（教える）」…この柱をその足元で支える、人の思いを感じ取る力・汲み取る力…「感化」「感動」の力を学校全体で共有することが出来たように感じます。また、全学年とも多くの保護者のみなさんの観覧も頂き、子どもたちも大変喜んでいたように感じました。いろんな課題がある中ですが、ご理解ご協力いただき誠にありがとうございました。今後このがんばりが日常生活に生かせるように指導していきます。よろしくお祈りします。

合唱コンクール本選の結果

最優秀クラス：3年A組

優秀クラス：3年C組・2年A組
1年A組

※この結果を受けて、3年A組が市内連合音楽会に日根野中学校代表として参加します！みんなの気持ちを受けて、がんばってきてください！

感動というやつは
人を愛えてしまう
そして心の奥底に沈んでいる
力を持ち上げてくれる…
感動こそ原動力

進路決定へ：受験はチーム戦

進路決定は3年生だけのものでは決してありません。その決定の舞台となる「学校」を支える1、2年生にも大きく関係するものなのです…。

進路決定・受験はチーム戦…

合唱コンクール本選の後、3年生学年集会で、主任の先生からの話もありましたね！確かに受験当日、そのテストに向かって、みんな手をつないで受験する…こんなことは絶対にできません。その当日、その受験の場に立つのは一人きり…。でも、その日を迎えるまでが受験の備え…できる限りの準備をすることに力を入れなければならない学校・担任としては、その雰囲気を高め、全体として力をつけさせる…「受験はチーム戦」として取り組まなければならないと考えています…。友人、クラス、学年全体で取り組むことによって、励まし合い、支え合う…その姿がお互いにとって大きな力となるからです…。仲間と一緒になら、受験という壁に向かって共に力強く歩めるはずです…。

また、受験はそろそろ体育の授業で取り組み始めた「長距離走」によくたとえられます…。例えば3000m走…。250mのトラックを12周…。スタートはみんな横一線・みんな一緒…。スタートし周回が進むにつれ、当然のことながら先頭と最後尾との距離は大きく離れていきます…。走っているすべての人がその苦しみと闘って走っていきます。でもよく考えてみてください…。一番苦しくもがいているのは誰？…。先頭集団…？全体が自己ベストタイムを狙って走っているなら、まず誰よりつらさを感じているのは先頭のランナーなのではないでしょうか？なぜならみんなを引っ張っていかなくてはならないから…。もし仮に先頭集団が手抜きをしてしまうのなら、全体のペースは遅れます。先頭のランナーが真剣勝負するのなら、周回するすべてのランナーは手を抜きできません。全員が自分の限界にチャレンジする姿こそが、一人ひとりの自己ベストにつながる方法だと思えるのです。進路決定においてチーム戦とは、先頭集団に始まり、中盤から最後尾にかけてすべてが真剣勝負することが大事…。一人ひとりが日常の自覚と継続から受験に向けての雰囲気をつくっていくように心がけてください！がんばれ！3年生！

そびえ立つ壁を前に…
それを乗り越える
準備を始めるか
その壁のすき間を
探し始めるのか
それぞれの生き方ですが…
どちらかを選びますか…
自分の
全
考
え